

## 熱意ある取組みに敬意を表します

目黒区社会福祉協議会  
会長 辰巳ヒロミ



令和元年6月より、会長という重責を担うことになりました辰巳ヒロミです。就任後の本格的活動が7月20日に開催された、社会福祉法人「もえぎの会後援会総会」への出席でした。事業報告と事業計画、また映像による様々な活動報告を拝見して、障害者福祉に対する熱意ある取組みを知り、改めてその必要性を痛感いたしました。とりわけグループホーム「沙羅の家 清水」は多くの区民が待ち望んでいた施設だと感じました。また、このたび新しく取組んだ「地域生活支援拠点事業」は、障害のある人及び家族等の生活上の困りごとの相談を365日24時間受け付け、住み慣れた地域でずっと生活していける安寧につながる尊い事業であると思った次第です。

私と「もえぎの会」とのかかわりについてふれさせていただきますと、目黒区青少年プラザにおいて、知的障害のある青少年を対象に「ステップアップ講座」が開かれており、平成7年頃より参加させていただいたのが最初でございます。参加者とお話しながら、一緒に活動を楽しみ、以来10年余、日常の活動の他に夏季の宿泊行事では寝食を共にしながら相互理解を深める機会も得ることができました。程なくして、メンバーの中で「しいの実社」に勤務されている数人の方と知り合うことができました。おいしいパンを購入する機会に恵まれました。このパンを地域の皆さんにも味わっていただきたく、行事の折に販売し大変喜んでいただきました。そして保護司の先輩である牧野雅子様よりお誘いがあり、私も15年前に喜んで「もえぎの会後援会」に入会いたしました。

改めまして、日頃より会の目的の中心に『自助自立』の精神を置いて活動されている「もえぎの会」関係者の皆さまのご尽力には深く敬意を表したいと存じます。そして末筆となりましたが、「もえぎの会」の益々のご発展を祈念いたしますと共に、社会福祉協議会へのご理解・ご協力もお願い申し上げます。

## 第18回しいの実祭のお知らせとお願い

今年も、11月30日(土)開催予定で、恒例の後援会のバザーも企画しています。献品に、ご協力をお願いいたします。11月15日(金)までに、ご連絡をお願いします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
  - ・ 古本、古着、日本人形、書画の類、大量の食器
- (献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153 岡田)  
沢山の方に参加していただき、感謝の気持ちを表すよう



な企画を、進めています。

来場された方が笑顔になる…心温まるお祭を目指します。

施設のスペースが限られており、平素よりお世話になっておりますお隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さん、スタジオ イーヴィさんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。

もえぎの会事業報告会、後援会総会 開催

事務局 岡田なおこ

目黒区総合庁舎大会議室にて、7月20日土曜日にもえぎの会事業報告会およびもえぎの会后援会総会を開催しました。

今年は梅雨明けが遅く、例年よりは暑さが和らいだ中での開催となりました。目黒区役所、目黒区議会、関係団体の皆様、ボランティア、後援会会員を初め、利用者とそのご家族、職員を含め、180名の参加者となりました。

後援会総会では、打尾副会長が議長に選出され、2018年度の事業報告・決算と2019年度の事業計画案と予算案が承認されました。後援会の事業は、もえぎの会の運営に多様なご支援をいただいています。宿泊研修旅行の補助、しいの実社や沙羅の家の設備・備品などの財政支援、広報誌の発行支援、イベントなどの販売支援と多岐にわたっており、感謝の念に堪えません。

事業報告会は、野村理事長からの挨拶を皮切りに、青木区長から来賓挨拶をいただき、しいの実社の小平施設長と、沙羅の家の長谷施設長から法人の活動報告を行いました。2018年度は、四中跡地の「沙羅の家 清水」を開設し、3ユニットのグループホームに加えて、ショートステイ、目黒区から委託を受けた「地域生活支援拠点事業」などの事業を進め、皆様の期待に応えるべく地道な実践を積み重ねている状況を理解していただきました。



待ちに待ったお楽しみのお料理



演奏に聴き入る社員のみなさん

あっという間にクロージングとなり、沙羅の家清水の新しい利用者の紹介や、新しく入職した職員の紹介をさせていただき、年長の利用者の三本締めが決まったところでお開きとなりました。参加していただいた皆さまに改めてお礼を申し上げます。

盛りだくさんの事業報告会ですが、今後とも多くの皆様にご満足いただけるよう企画して参ります。



青木区長祝辞

次に、目黒区議会の宮澤議長に区議会議員の紹介と乾杯のご発声をしていただき、懇親会のスタートとなりました。

懇親会では、多くのお客様においでいただいた中で、尾崎教育長、上田健康福祉部長、保坂障害福祉課長、水江青鳥特別支援学校校長、斉藤都議会議員、伊藤都議会議員、栗山前都議会議員、辰巳目黒区社会福祉協議会会長、山田懇話会会長にお言葉をいただきました。

その後は利用者の皆さんの、食事の次のお楽しみ、日本チェロ協会のご協力による演奏会となりました。日頃プロとして活躍されている皆様の演奏は本格的で、今年はより参加者が楽しめるプログラムを組み立てて下さいまして、利用者だけでなく、参加者の皆さまや職員も一緒に体を動かしたり、リズム楽器をお借りして一緒にリズムを刻んだり楽しいひと時となりました。



クロージング 全員集合

### しいの実社 宿泊研修旅行

しいの実社では、9月5日から1泊2日の宿泊研修旅行で、今年は山梨県の石和温泉に行ってきました。社員48名、スタッフ30名、ボランティア3名の合計81名の大所帯です。



リニアの見学、試乗

1日目は9時にしいの実社を出発し、リニア見学センターへ行きました。超電導リニアモーターカーの走行試験の様子を見ることもできました。走行



総勢81名 全員集合!!

時間はわずか、2秒。目に留められない速さです。ミニリニアを体験する人、興味深そうにリニアのしくみを見学する人、思い思いの時間を過ごしました。続いて、山梨FUJIフルーツパークでおいしい昼食をいただきホッと一息。お腹も満たされたあとは、お土産を見たり、ソフトクリームを食べたりとゆっくり過ごしました。



順番待ちのカラオケ

この日の宿泊先、石和温泉ホテル八田に到着してからは休む間もなく温泉入浴タイムとなり、お風呂から上がってくる皆さんの顔には心も体も温まった笑顔がありました。いよいよお待ちかねの大宴会。まずはおいしい豪華な料理をお腹がいっぱいになるまで楽しみ、毎年恒例のカラオケ・タイム。多くの人が歌が好きで、楽しみにしているので、みんなが歌えるように事前に聞いておいたリクエストの曲を次々に歌って、踊って盛り上がりました。自分の番を今か今かと待つ人、待ちきれず舞台上で一緒に踊っている人とさまざまで、限られた時間でしたが普段見ることのできないとびきりの笑顔を見てスタッフの苦労も吹き飛びました。一旦お開きにして、それでもまだ歌いたい!という人のために二次会へ突入。ひとしきり歌い、満足気に皆さん部屋に戻

ていきました。

2日目は「河口湖自然生活館」へ行き、その後ロープウェイに乗るグループと河口湖ハーブ館に行くグループに分かれ、景色を楽しんだり、ソフトクリームを食べたりゆっくりと過ごせた一時でした。

その後は、河口湖畔食事処ふなつやで昼食を取り、昼食後はバスに乗り「えびせんべいの里」へ行きました。20種類のえびせんべいが試食でき、楽しみながらお土産を選んでいました。

社員の皆さんには、お腹いっぱい、胸いっぱいの笑顔あふれた充実した旅行となり、初参加のスタッフも多い中で、社員との関わりをより深められた2日間となりました。ご支援いただいている後援会の皆様に、社員・スタッフ一同お礼申し上げます。



河口湖をバックに、残念ながら富士山はお休み



AOKI KOMUTEN  
株式会社 青木工務店

目黒区青葉台2-20-13  
TEL 03-3719-2511  
<http://aokikoumuten.com>

「地元の会社では古手になりましたねえ」と感慨深く話される3世代で4代目の青木茂社長。青木工務店は今年設立72年を迎えられました。社屋のある目黒区東山で生まれ育ち、ご家族と共に地域の変遷を見てこられました。7年前に取材でお訪ねした時とは周囲の景色がずいぶん様変わりしていて、年々変わりゆく街の歴史を青木社長は「建物」の専門家の眼で見届けていらっしゃるようです。昭和30年代までは側を流れる目黒川には染物屋さんの友禅流しの風景があり、浸水被害が出るほどの暴れ川でもあったそうです。「護岸工事で土手がなくなり、桜も三代目でしょうか。花びらも、私が小学生だった頃はもっと薄桃色でしたねえ。その頃にタイムスリップしたら、きっと迷子になってしまいますね」とおっしゃるように寂しいですが期待感も湧く街並みです。



青木茂社長

青木工務店には、「沙羅の家 清水」を手掛けていただき、入居者やスタッフも快適に過ごしています。施設を建設する際に周囲の誤解で反対が起きることは珍しくありませんが、そんな時は事例を挙げて丁寧に説明され、理解を得る努力をされているお話を聞き、本社に掲げられている「企業十訓」の一つ「地元・本業・ところを大切に作る」を実行されているのだと思いました。また、人材発掘にも取り組み、東北や九州などにも採用の種をまき、一人一人が輝けるように育て上げる体制を大切にされています。



沙羅の家 清水

青木社長のお話で、今回は「年老いた力のあるものは、ある時しんがりになり下がり、力弱き若者の背を押しなさい」という言葉が印象に残りました。仕事や社会的活動の長に関しても 準備や時期の見極め、「どうやったらしんがりになって背中を押せるのだろう、若きものとは誰なのだろう」と自問自答され、これはしばらくの課題となりそうですね。

「仕事を全部冷凍庫に入れておき、時々解凍しながらできたら・・・」とおっしゃるくらいの忙しさ。ご自分の為の理想の家を作ることは夢のまた夢になりそうとおっしゃっていました。どうぞこれからもご活躍ください。

## 三憲工業株式会社

目黒区目黒本町5-7-3  
TEL 03-3710-7281



目黒本町にある三憲工業株式会社は、もともと日立製作所のOBである社長のお父様が株式会社ウキタという商社を運営されていました。昭和46年9月に、ウキタで扱っていた部品を製作する会社が廃業したことがきっかけで、日立製作所の要請から、汎用送風機や産業ロボット関連事業を行う会社として誕生しました。昭和63年3月には日立テクノエンジニアリングの液晶プラント製造事業を開始され、平成18年6月には電子機器リサイクル事業部を立ち上げ、キャノンやブラザー製のインクジェットプリンターのメンテナンス・販売を始められました。最近では、主にネットでの受注・販売をされているそうです。

浮田紘治社長

もえぎの会との関わりは古く、昭和55年頃、浮田社長がもえぎの会創設メンバーとともに情緒障害児親の会という勉強会を共にされていたというご縁になります。その後、浮田社長は杉並にある社会福祉法人済美会で理事を20年余り務められましたが、5年前にお嬢さんのしいの実社利用がきっかけで、もえぎの会後援会に入会して頂き、以来継続して支えていただいています。しいの実祭の人気メニューチョコバナナのバナナは、毎年浮田社長のご寄付によるものです。

浮田社長の近年のご趣味は、太極拳。それまでは50年ほどゴルフを楽しんでおられましたが、腰痛をきっかけに太極拳に親しむようになったとのこと。穏やかな雰囲気の方ですが、実は茶目っ気のある一面もあることが発見された取材でした。

浮田社長の近年のご趣味は、太極拳。それまでは50年ほどゴルフを楽しんでおられましたが、腰痛をきっかけに太極拳に親しむようになったとのこと。

穏やかな雰囲気の方ですが、実は茶目っ気のある一面もあることが発見された取材でした。



目黒区上目黒2-1-1  
 中目黒GTタワー14F  
 TEL 03-6742-0373  
<https://www.erecta.co.jp>

## エレクト株式会社

初めて中目黒GTタワーから見る眺めは意外と壮観でした。「周囲に高いビルがないからでしょうか？ 冬は富士山も見えますよ」と迎えてくださったのは「エレクト株式会社」副社長の柳屋司さん。これからの目黒を盛り立てていく若きリーダーです。

設立50周年を超えたエレクトは1966年に司副社長の祖父である先代創業者がアメリカのインターメトロ会社と技術提携をして国内でのエレクトシェルフとその関連製品の販売独占権を獲得して設立されました。



右：柳屋隆社長  
 左：柳屋司副社長



その後、製造開発、アメリカ、ヨーロッパからの輸入販売もされています。ホテル、レストラン、医療施設、工場、研究所、物流倉庫等を対象に、6つの営業所、甲府事業所での製造と、幅広く事業を展開されています。

エレクトシェルフとの出会いは、先代がオープンされた目黒区青葉台の合掌造りの料亭「ふるさと」です。一般の方、社用族に加え、海外のお客様に人気があり、1964年ハワイに出店されました。その厨房にあったエレクトシェルフに、先代はすっかり虜になり、すぐに輸入、販売に移られました。

いただいた名刺や、会社案内が、ユニークなものだと気が付きました。飛び出す仕掛けパンフレットとでもいうような…。「ふるさと」時代にいろいろなイベントを企画してインパクトのあるパンフレットを作った名残りで、販売促進グッズにはこだわりを持って、業態転換されても良き伝統は受け継がれているようです。



本社の入るGTタワー

2011年9月に地元に戻ろうということで中目黒GTタワーに移転されました。社会貢献活動にも積極的で、エレクト・ピンクリボン製品の温令配膳車の売上金の一部を寄付し、ピンクリボン運動を応援されています。「もともと目黒生まれ、会社も目黒ですから、地元に関わる活動は積極的にやっています」と、さくら祭り、わんぱく相撲、めぐろシティマラソンの支援も青年会議所を通し関わってくださっています。

しいの実社とのご縁は、お父様の隆社長と後援会の沼野会長が青年会議所の先輩後輩の間柄でお仕事でも関りがおありで繋がりました。また隆社長の古希のお祝いの会でもしいの実社製品をご利用いただき、ありがとうございました。これからも良いご縁が続きますようよろしくお願いいたします。

### 新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

\* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

## 沙羅の家

# サ 朗 木

### グループホーム「沙羅の家」 合同イベント

世話人 伊藤 香、菊地栄美子

昨年新しくできた沙羅の家 清水の利用者さんも加わり、3月21日(木、祝)に貸切バス2台で大所帯のイベントとなりました。沙羅の家では、1週間の中間の祝日は、通常の日中活動に代わり、グループホームで、イベントを企画します。今回は利用者の皆さんにアンケートを取り、カラオケとボーリング、昼食は

品川プリンスホテルのランチビュッフェ「ハプナ」に決まりました。

当日はカラオケ組とボーリング組に別れて、集合場所に集まり、出発となりました。到着まで、車窓観光を楽しみ、東京タワーやスカイツリーなどが見え、食い入るように見る人がいたり、バスがトンネルに入ると喜んでいる人が

休日をエンジョイ



いたりと様々な楽しみ方をしていました。ボーリング組は、はじめは、緊張していたものの、進むにつれ、ストライクを出すと、皆で歓声をあげて喜んでいました。カラオケ組も、入った時は、ぎこちなかったが、時間が経つにつれて自分の好きな曲を熱唱したり、歌に合わせて踊ったりと、皆で楽しんでいました。

昼食は、全員合流してビュッフェを楽しみました。休日で、混みあっていましたが、落ち着いて美味しいお料理を取りに行き食べることができました。

盛りだくさんのイベントで帰路のバスではウトウト…する人もいましたが、無事にそれぞれのグループホームに着くことができました。



### 秋の例大祭 町会へのご挨拶とお神輿担ぎ

世話人 和田育子

大鳥神社と碑文谷八幡宮例大祭に参加し、関係する町会の神酒所を訪問し、お神輿担ぎをしました。7日の大鳥神社例大祭に沙羅の家 清水のある目黒原町会に伺い、廣瀬会長にご挨拶しました。

14日の碑文谷八幡宮例大祭にしいの実社のある清水町会にご挨拶にお伺いし、夜は沙羅の家の利用者が南一丁目会のお神輿担ぎへ、翌日は向原西町会の大神輿渡御へ参加しています。昨年は参加できなかった利用者が自らお神輿の前列へ入り、皆様と一緒に汗を流しながら盛り上げていました。

私は例大祭、今年で二回目の参加となりますが、毎度「沙羅の家です」と地域の方へお伝えすると温かく迎え入れていただき、お祭りへの参加も理解ある形で受け入れていただいています。年々こうした行事へ地域からの参加者は少なくなっているようですが、沙羅の家は今後も積極的に参加し、地域



南一丁目会のお神輿に勢ぞろい



威勢よく神輿担ぎ

の活性化のお手伝いをさせていただきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いたします。



目黒原町会広瀬会長を囲んで

#### 編集後記

沙羅の家清水が加わり、事務局を立ち上げ1年半が経ちました。まだまだ内外から教わることが多く未熟な点もありますが法人の根っことなる部分ですので、さらに強化して参ります。これからもよろしくお願いたします。(岡田)

発行: 社会福祉法人もえぎの会

住所: 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)

電話: 03-5724-7153

